

TMR を夕方給餌することで暑熱ストレスを緩和

暑熱時期は日中の採食行動が大きく阻害されるため、比較的採食活動が行われる夕方から朝方にかけて時間帯の採食行動を促進する工夫が必要です。

【成果概要】

TMR を夕1回/日給餌することで、

- 夕方～朝方にかけての採食行動が促進されました（図1）。
- 時間換算で1日当たり約0.5時間、採食行動時間が増加しました。
- 夜間のストール横臥休息が促進される傾向を示しました（図1）。
- 時間換算で1日当たり約1時間、横臥休息時間が増加しました。
- 乳脂肪分率、無脂乳固形分率の低下が緩和されました（表1）。



写真：暑熱ストレスを受け、採食、横臥せずに起立している牛群

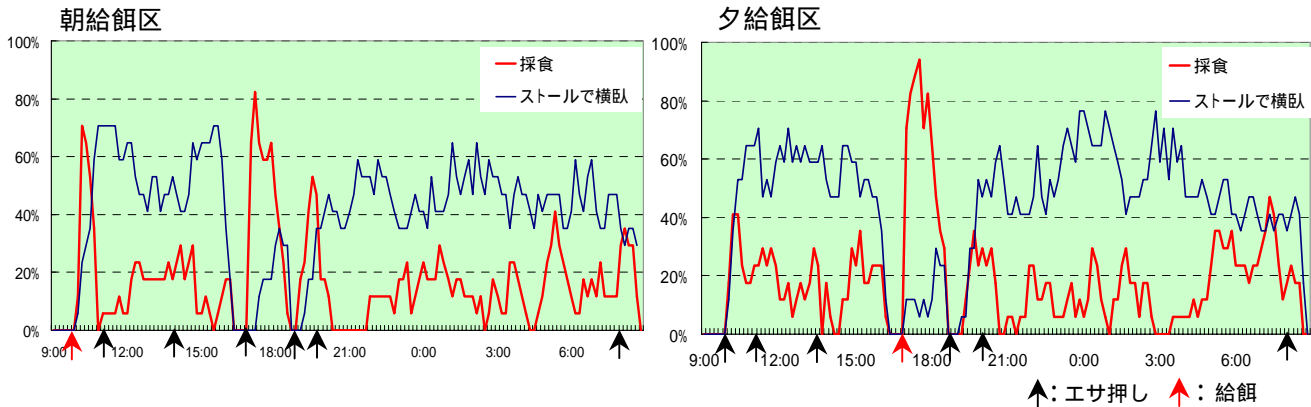


図1 採食行動、横臥休息行動割合推移

表1 乾物摂取量、乳成分

	朝給餌区	夕給餌区
乾物摂取量 (kg/日)	22.67 ± 0.8	22.81 ± 1.2
乳量(kg)	32.45 ± 8.9	32.68 ± 9.4
乳脂肪分率 (%)	4.15 ± 0.4	4.43 ± 0.4
蛋白率 (%)	3.33 ± 0.3	3.42 ± 0.3
無脂乳固形分率 (%)	8.77 ± 0.3	8.98 ± 0.3

P < 0.05 . . .

【留意点】

- 気象条件は平均気温 22.0、平均最高気温 26.6、平均最低気温 18.5 でした。体感温度 19 以上を暑熱ストレスを感じ始める目安としてください。
体感温度 () = 気温 () - 6 風速 (m/s)
- TMR 給餌は1日1回、朝給餌区：10:00、夕給餌区：16:50に行っています。エサ押しは最低1日6回行いました。常に牛がTMRを食べられる状態になるように注意してください。